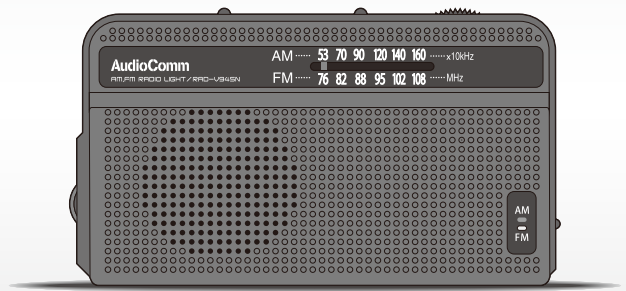


取扱説明書

手回し充電ラジオライト

型番：RAD-V945N
品番：07-7945このたびは、
AudioComm®手回し充電ラジオライトを
ご購入いただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にご使用ください。また、お読みになった後も、ご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

主な仕様

受信周波数	AM：530～1605kHz　FM：76～108MHz
スピーカー出力	最大100mW
LEDライト	◎白色LED(Cree社製)1灯 ◎赤色LED1灯／警告灯用(警告動作時にサイレン音) ※上記2灯を手動切換方式
電源	◎乾電池：DC4.5V　単4形乾電池×3本(別売) ◎内蔵ニッケル水素充電池：DC3.6V　600mAh ◎手回し発電：内蔵ニッケル水素充電池使用
電池持続時間	【アルカリ乾電池(新品)を使用した場合】 ・ラジオ：約16時間　・ライト：約40時間 ・携帯電話：通話 約1時間／待ち受け 約20時間 ・スマートフォン：通話 約40分／待ち受け 約30時間 【内蔵充電池に充電した場合】 ●USB充電(約6時間でフル充電) ・ラジオ：約8時間　・ライト：約20時間 ・携帯電話：通話 約15分／待ち受け 約6時間 ・スマートフォン：通話 約8分／待ち受け 約8時間 ●手回し発電(120回転／分で3分間充電した場合) ・ラジオ：約45分　・ライト：約2時間 ・携帯電話：通話 約1分／待ち受け 約30分 ・スマートフォン：通話 約40秒／待ち受け 約40分
外形寸法	幅130×高さ74×奥行36mm(突起物含まず)
質量	約220g(乾電池含まず)
付属品	携帯電話／スマートフォン充電用ケーブル、au携帯電話用コネクター、docomo FOMA携帯電話及びSoftBank 3G携帯電話用コネクター(3G以外は非対応)、ミニUSB端子搭載機種用コネクター、スマートフォン(マイクロUSB搭載機種)用コネクター、取扱説明書、保証書

※電池持続時間はあくまで目安です。周囲環境や使用状況によって異なります。
※iPhone用のコネクターは付属しておりません。
※本取扱説明書で使用している図版は、一部実際の製品と形状などが異なる場合があります。
※外観及び仕様は改良のため予告なく変更することがあります。　※イヤホン別売り

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について	
	この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。
	危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。
絵表示の使用例	
	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「感電注意」が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

発電用ハンドルを使った携帯電話／スマートフォン充電操作時のご注意

- 発電用ハンドルは1分間に120回が目安です。それより早く強く回しても、充電時間が短くなることはありません。
- 早く強く回しすぎると、携帯電話／スマートフォンに過大な電流が流れ、下記の症状が出る場合があります。
 - ・携帯電話／スマートフォン本体の電源が切れてしまう
 - ・充電異常などの表示が表れる上記の症状が出た場合は、純正の充電器を利用して安定した電圧電流でしばらく充電すると、通常の状態に戻ります。
- 発電用ハンドルは、しっかりとロックするまで開いてから操作してください。
- 過充電にご注意ください。また、携帯電話／スマートフォンの充電池部分が熱くなった場合は、すぐに使用を中止してください。充電池に支障をきたすおそれがあります。
- 充電が必要な場合のみご使用ください(電池残量が充分なときは使用しないでください)。
- 携帯電話／スマートフォンの充電池が完全放電してしまっている場合は、本機を使用しての充電はできません。その場合は携帯電話／スマートフォン付属の充電器／アダプター(本体を装着して充電するユニット)を使用してください。
- 以下の行為は絶対にやめてください。
 - ・携帯電話／スマートフォン本体に直接接続せず、充電器を経由して充電する
 - ・電池を外して充電するこれらの行為は、携帯電話／スマートフォン本体を破損させるおそれがあります。
- 携帯電話／スマートフォンは本機の使用に関わらず、何らかの原因によって電話帳や登録情報などのメモリーが突然消失してしまう危険性があります。したがってあらかじめ別の方法でバックアップをとっておかれることを強くお勧めします。なお、本機の使用により、一時的に通話できなくなったり、メモリーが消失したりしても、当社では責任を負いかねますのでご了承のうえお使いください。
- 本機はPHSには充電できません。また市販されているほとんどの携帯電話に対応していますが、一部の機種で使用できない場合がありますのでご了承ください。
- 充電能力は、電池残量によって効率が異なります。残量ゼロの場合、充電できないことがあります。

警告	
	乾電池を取り外した際は、小さなお子さまに触れさせない ●口に入れたり、飲み込むことがないように、充分に注意し、手の届かない場所に保管してください。 ●万一飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。
	車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない ●交通事故の原因になります。 ●歩きながら使用するときも、周囲に十分にご注意ください。交通事故などの原因となります。
	点灯中のライトを至近距離から直視しない ●視力障害の原因となるおそれがあります。
	雷が鳴り始めたら、本機に触れない ●落雷や感電のおそれがあります。
接触禁止	
注意	
	湿気やほこりの多い場所、水滴や油煙、湯気の当たる場所に置かない ●火災や感電の原因となることがあります。 ●本機は防水仕様ではありません。
	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	本機を分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。
分解禁止	

故障かな?と思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	●ファンクション切換スイッチが「」になっていませんか。 「 充電池」または「 乾電池」に合わせてください。 ●乾電池使用時：乾電池は正しく装着されていますか。乾電池が消耗していませんか。 ●充電池使用時：充電池の残量が少なくなっていないか。
音が出ない	●ファンクション切換スイッチが「携帯充電」になっていませんか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●イヤホン端子にイヤホンが接続されたままになっていませんか。
雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか。充電時以外は携帯電話を本機から離して使用してください。 ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか(雑音が入ることがあります)。 ●発電用ハンドルを操作していませんか(ラジオ受信中に発電用ハンドルを回すとノイズが入ることがあります)。
充電ができない	●パソコン接続時：携帯電話／スマートフォン充電用ケーブルは正しくパソコンと接続されていますか。

充電用の内蔵電池（ニッケル水素充電池）について

ご購入後初めて使用するとき、内蔵されているニッケル水素充電池は若干充電された状態になっています。ニッケル水素充電池は、通常の使用においては交換の必要はありません。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

警告	注意
・火中への投入、加熱、分解をしない ・取り外した乾電池を幼児に触らせない ・使用推奨期限内の乾電池を使う ・ショートさせない ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない	・⊕⊖の表示どおりに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使用推奨期限内の乾電池を使う ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一お子さまが乾電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

お手入れ方法

本機表面の汚れは柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後から拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは
使用しないでください

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

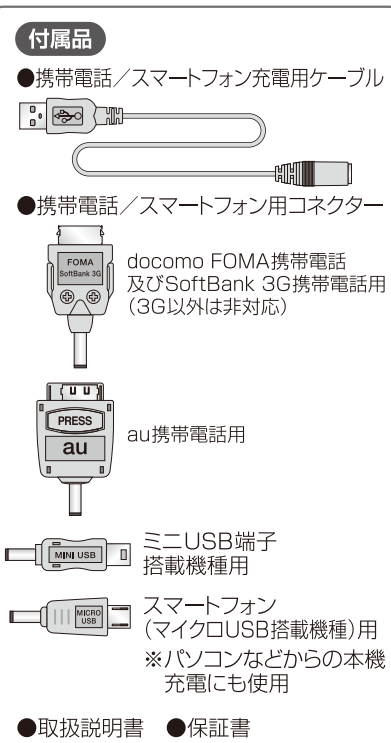
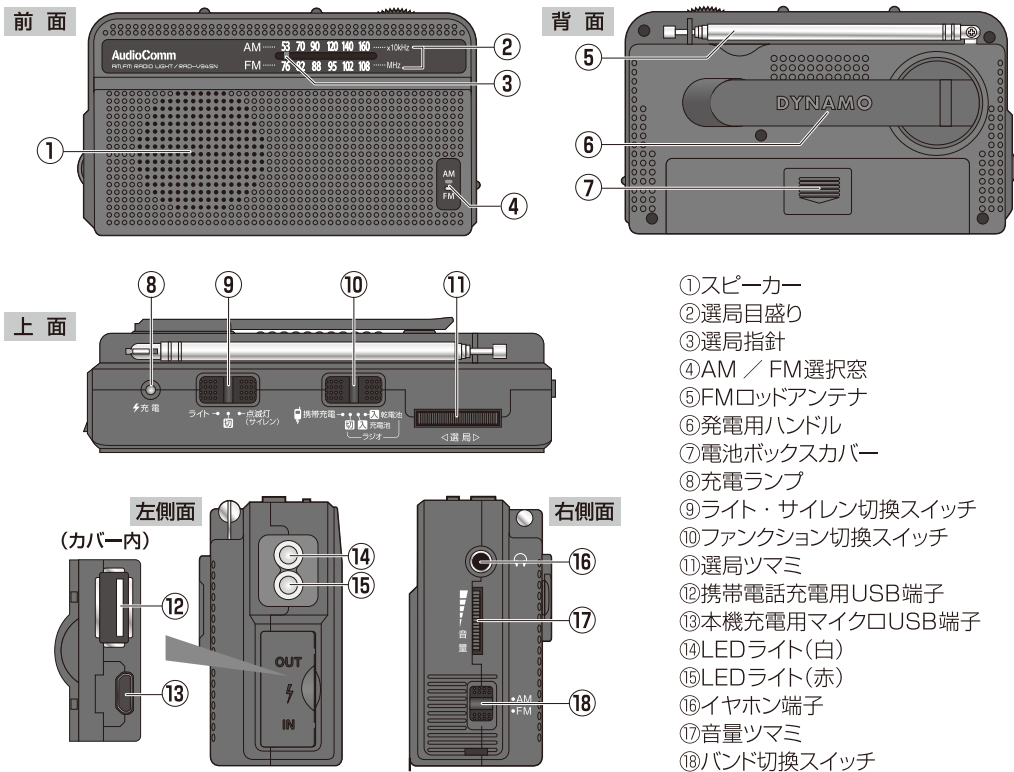
●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料　●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

各部の名称



本機を充電する(内蔵充電電池に充電)

本機の充電には、①発電用ハンドルを使用する ②携帯電話/スマートフォン充電用ケーブルを使用してパソコンなどと接続する の2つの方法があります。

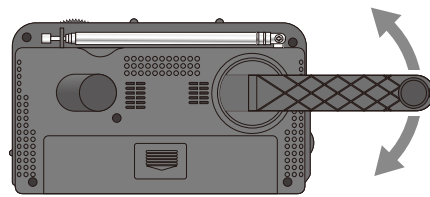
ヒントとご注意

- ファンクション切換スイッチを「**携帯充電**」以外の位置にしてください(効率を上げるため、「**切**」に合わせることをお勧めします)。
- ライト・サイレン切換スイッチを「**切**」にするとさらに充電効率が上がります。
- 充電が始まると充電ランプが点灯します。
- ラジオを聴いているときに、発電用ハンドルによる充電またはパソコンなどとの接続による充電を行なうと、受信しにくくなりノイズが出ることがありますのでご注意ください。



① 発電用ハンドルを使用して充電する

発電用ハンドルを取りだして回します。



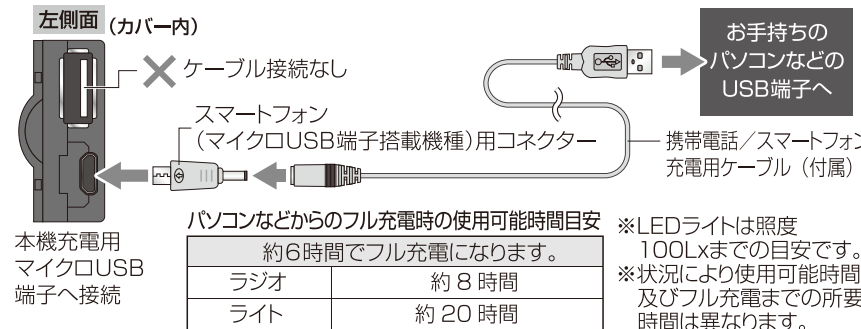
手回し発電による使用可能時間目安

120回転/分で3分間充電した場合	
ラジオ	約 45 分
ライト	約 2 時間

※ LED ライトは照度 100Lx までの目安です。
※ 状況により使用可能時間は異なります。

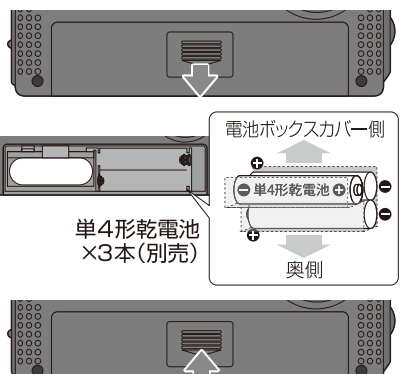
② 携帯電話/スマートフォン充電用ケーブルを使ってパソコンなどと接続して充電する

携帯電話/スマートフォン充電用ケーブルとスマートフォン(マイクロUSB端子搭載機種)用コネクタを使って、本機とパソコンなどのUSB端子に接続すると、自動的に充電が始まります。
※ 携帯電話充電中は本機への充電はできません。携帯電話を外してから充電してください。



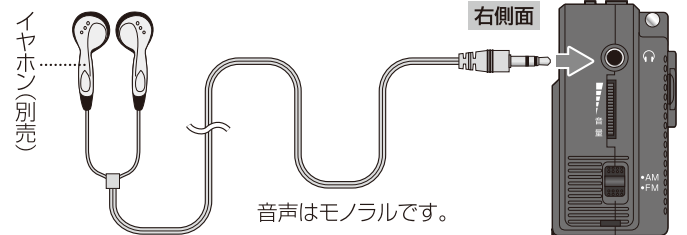
乾電池の入れかた

- 本体背面の電池ボックスカバーを開けます。
- 単4形乾電池(別売)3本を、⊕⊖の向きに注意しながら、正しく入れます(飛び出ているコイルパネのほうが⊖です。⊖側から先に入ってください)。
- 電池ボックスカバーを元どおりに正しく閉めます。



イヤホンで聴く

別売のイヤホン(φ3.5mmミニプラグ)を、本機右側面にあるイヤホン端子につなぎます。イヤホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。



イヤホンをご使用の際は、本機の音量を下げた状態でイヤホン端子に接続してください。また、使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

ラジオを聴く

- ご注意**
- 電源を入れる際は、事前に音量ツマミで音量を低めに調節してください。音量が高いまま電源を入れると、突然大音量が出て周囲の迷惑になったり、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
 - 充電電池でご使用の際は、「本機を充電する」をご参照のうえ、十分に充電してから操作してください。
 - ラジオを聴いているときに、発電用ハンドルによる充電またはパソコンなどとの接続による充電を行なうと、受信しにくくなりノイズが出ることがありますのでご注意ください。

- ファンクション切換スイッチを、ご使用になる電源に応じて、「**切** 乾電池」または「**切** 充電電池」の位置に合わせると、電源が入ります。
- バンド切換スイッチをお聴きになりたいバンドに合わせます。選択中のバンドはAM / FM選択窓で確認できます。
- 選局ツマミを回して、お聴きになりたい放送局を選びます。



- 音量ツマミを回して、音量を調節します。
- 終了するときは、ファンクション切換スイッチを「**切**」の位置に合わせます。

よりクリアな放送を楽しむために...

- AM放送の場合
AMアンテナは本機に内蔵されています。本機の向きを変えて調節してください。
- FM放送の場合
FMロッドアンテナを伸ばし、アンテナの角度や、本機の向き・場所を調節してください。



ライト・点滅灯(サイレン)の操作

上面



- ライト・サイレン切換スイッチを、「ライト」、「点滅灯(サイレン)」のいずれかに合わせます。

スイッチの位置	機能
ライト	LEDライト(白)が点灯します。
点滅灯(サイレン)	LEDライト(赤)が点滅し警報音を発します。

- 終了するときは、ライト・サイレン切換スイッチを「**切**」の位置に合わせます。

ヒントとご注意

- ファンクション切換スイッチが「**切**」の場合(乾電池が装着されていない場合や充電電池の残量がない場合を含む)でも、発電用ハンドルを回すことで機能します。
- LEDライトをのぞき込んだり、至近距離から人やペットに向けて照射しないでください。視力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- サイレンは、非常緊急時を除いて絶対に発しないでください。また試験的に使用する場合は周囲に人がいないことを確かめるなど、迷惑をかけないようにご注意ください。

携帯電話/スマートフォンを充電する

※ 本機を充電しているときに、同時に携帯電話/スマートフォンを充電することはできません。

本機充電用マイクロUSB端子にケーブルが接続されていないことを確認してください。(接続されたままだと、携帯電話/スマートフォンへの充電ができません)

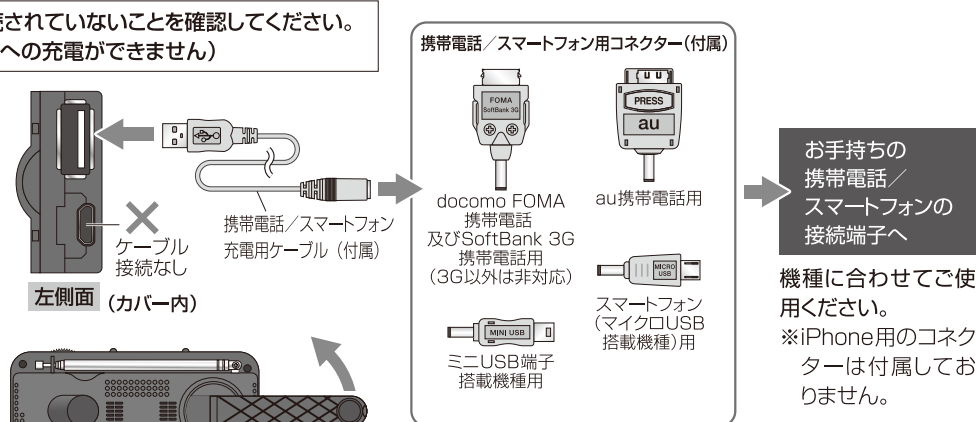
- 右図を参照しながら、携帯電話/スマートフォン充電用ケーブルと、お手持ちの機種に適合する携帯電話/スマートフォン用コネクタを使って、本機と携帯電話を接続します。※コネクタの種類や表裏を確認のうえ、正しく接続してください。

- ファンクション切換スイッチを「**携帯充電**」に合わせます。乾電池または充電電池から自動で充電が始まります。



- 充電電池の残量が少ない場合は、発電用ハンドルを取り出して回し、発電してください。※ハンドルを取り出すときは、「カチッ」とロックがかかるまで広げてください。

- 充電を終えるときは、発電用ハンドルを収納し、ファンクション切換スイッチを「**切**」に合わせた後、コネクタを取り外します。※コネクタを取り外す際はコネクタのロック解除ボタンを押しながら操作してください。



ヒントとご注意

- ハンドルは右・左回しとも可能です。
- ハンドルを回すスピードは1分間に約120回が目安になります。
- 本機の携帯電話充電機能は、あくまで純正の充電器が使用できない場合の一時的な利用を想定しています。日常の充電には携帯電話会社純正の充電器をお使いください。

注意

- 形状の異なるコネクタを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。
- 充電開始後すぐに携帯電話/スマートフォンに「警告」や「充電をやめてください」などと表示された場合、すぐに充電をやめてください。故障の原因となります。